

## 実施概要及び成果

### 【実施概要】

- 「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマに、4つの分野で「誰もが幸せに楽しく暮らせる社会」をともに考え、学び、創り上げるイベントを展開
- 「ロボット・アバター・ICT」：遠隔操作ロボットによるパレード・買い物競争、観光ツアー、自動運転バス等次世代モビリティの走行
- 「ウェル・ビーイング」：健康、食、環境、いのちに関する多数の展示や講演、さらに裏千家千玄室大宗匠の講演、フードテックシンポジウム、メタバース茶会等を展開
- 「スタートアップ」：スタートアップフェスや万博会場でのイベント開催ー国内外の大学、企業、支援機関が集結し、革新的アイデア、社会課題解決の最前線を紹介
- 「サイエンス&アート」：けいはんなみゅーじあむや木津川アート、観月のタベ等科学を掛け合わせた文化イベントや、住民と未来を考える未来創造セッションを実施
- 「オープンラボ・テックツアー」を延べ8日間開催。国内外の訪問者に、けいはんな学研都市に集積する研究機関・企業の先端技術を案内
- 「国際イベント」として、ノーベル賞受賞者2名によるシンポジウムをはじめ、「京都スマートシティエキスポ」や「京都国際学生サミット」「香港食祭」等を開催

### 【実施成果】

- 期間中74のイベントの実施、来場者人数ー延べ 約200,000人（令和7年10月22日現在速報値）
- 大阪・関西万博の会場内での取り組みを踏まえ、本イベントを契機としたけいはんな学研都市への訪問者の増加に加え、参加者による閉幕後も継続したイベント連携や事業実施等への意欲醸成、更には今後のけいはんな学研都市発展の推進体制構築の第一歩に繋がった。

### 実施主体

けいはんな万博2025運営協議会

【問い合わせ窓口】(公財)関西文化学術研究都市推進機構

### 実施場所

けいはんな学研都市 等

### 実施時期

令和7年4月13日～10月13日

### 関連HP

<https://keihannaexpo.org/>

### その他

狂言の英語字幕対応や国際イベントでの英語対応等



## 万博後の取組

- ・けいはんな万博2025の開催を通じ、立地機関・関係者の連携や、国際交流の促進、住民参加の機運が高まったことを踏まえ、大阪・関西万博の成果を継承する「ポスト万博シティ」として、大阪・関西万博のレガシーを継承し、継続的な国内外への都市の求心力を高めていく。
- ・石黒浩氏のシグネチャーパビリオン「いのちの未来」のアンドロイド7体を京都府が無償譲渡を受け、けいはんなオープンイノベーションセンターで展示するほか、「RITE 未来の森」のガイダンスホールもけいはんな学研都市内に展示されることから、万博の「レガシー」を体感いただく機会や、学生・生徒が最先端の科学技術に触れる機会を創出するイベントなどを実施予定。